



▶ 鳥取県

制度の原点に立ち返った取組で子どもや被災者を支援

鳥取県では、未来を担う子どもたちのためにふるさと納税を活用すべく、「こども未来基金」を設置し、子どもたちへ図書を贈る事業や、県立学校の運動部活動を促進するために地域の専門家を外部指導者として招く事業に取り組みました。また、平成 28 年 10 月に発生した鳥取県中部地震の復興事業にも取り組んでいます。

活用状況については、具体的な成果も記載した活用実績報告書を寄附者全員への送付するとともに、県のウェブサイトにて公開しています。

また、寄附者にはお礼

状の送付に加え、鳥取をより知っていただけるよう、県情報誌やトピックスを送付するなど、ふるさと納税後の継続的なつながりを持つための取組を進めています。



鳥取県立図書館の児童書コーナーの整備



平成 28 年鳥取県中部地震からの復興

注力した点や工夫した点

年度終了後の活用実績報告書の送付に加え、年度中途においても活用状況を県のウェブサイトに掲載し、寄附の成果や進捗状況が寄附者に伝わりやすいように取り組んでいます。

Check

取組の効果

ふるさと納税で集められた資金により、子どもたちに累計で約 4 万冊もの本を贈ることが出来ました。また、鳥取県中部地震の復興事業として国の支援対象外である一部損壊住宅への支援など、多くの具体的な事業が実施出来ました。

ふるさと納税は、日本の寄附文化を育てる上でも大きな意義を

持っており、ふるさと納税の使い途に着目した取組を通じて、寄附文化の醸成が進むことを期待しています。



寄附者全員へ活用実績を送付



引き続き鳥取県へ関心を持ってもらうため、鳥取の旬のトピックスをお知らせ

寄附者の声



・定期的にトピックスを送るなど県の PR について熱意を感じます。

住民の声



・みなさんのおかげで大好きな地元にいることを大変喜んでます。ありがとうございます。(鳥取県中部地震被災者)